

## 第 31 回サタデースライドカンファレンスプログラム

10 : 30～11 : 00 各種委員会

11 : 00～12 : 00 幹事会

12 : 00～13 : 00 受付・鏡検

13 : 00～挨拶 (新入会員・新専門医紹介)・説明

13 : 15～16 : 30 スライドカンファレンス

各症例 45 分 : 症例提示 3 分、グループワーク 20 分 (討論 10 分、発表 2 分×5 グループ)

指定回答 8 分 (4 分×2 名)、解説 7 分、質疑応答 7 分

座長 : 浅野功治 MD (諏訪中央病院)、三澤健 CT (伊那中央病院)

13 : 15～症例 1 後腹膜腫瘍

出題者 : 丸山聡 (長野市民病院)

指定回答者 : ①仲田梨恵 (信州大学附属病院)

②佐久間悠輔 (上田医療センター)

14 : 00～症例 2 消化器 (膵管ブラシ)

出題者 : 宮坂 真木 (岡谷市民病院)

指定回答者 : ①轟愛美 (篠ノ井総合病院)

②岩田貴博 (飯田市立病院)

14 : 45～14 : 55 ー休憩ー

14 : 55～15 : 05 協賛メーカー紹介

座長 : 林誠一 MD (健和会病院)、西尾昌晃 CT (飯田市立病院)

15 : 05～症例 3 甲状腺

出題者 : 小林浩子 (丸子中央病院)

指定回答者 : ①長澤大輔 (まつもと医療センター松本病院)

②平林沙也奈 (長野県健康づくり事業団)

15 : 50～症例 4 乳腺

出題者 : 小塚智文 (松本市立病院)

指定回答者 : ①平嶋早百合 (伊那中央病院)

②佐藤憲俊 (佐久医療センター)

16 : 35 終了

## 症例概要

症例1 後腹膜腫瘍 (Pap.1枚, Giemsa1枚)

出題者：長野市民病院 丸山聡

[患者]43歳 男性

[主訴]左側腹痛

[臨床経過]整形外科を受診し、湿布処方されるも改善せず。他院受診し、CTにて後腹膜腫瘍を指摘された。左鎖骨下に転移を疑う3cm大の腫瘤あり。

[材料]頸部リンパ節生検捺印

症例2 膵管 (Pap.1枚)

出題者：岡谷市民病院 宮坂真木

[患者]78歳 女性

[検体]膵管

[臨床所見]膵管の拡張をとまなう膵頭部主膵管内の充実性腫瘍。IPMC疑い。

[採取方法]ERCPにて狭窄部はガイドワイヤーが通過せず、その手前をブラッシング。ガイドワイヤーを抜去したところ、 Vater 乳頭から滲出物を認め、吸引採取。(ブラシでも同じ細胞が採取されていますが、細胞量の多い吸引材料を今回提示しています)

症例3 甲状腺 (Pap.1枚, Giemsa1枚)

出題者：丸子中央病院 小林浩子

[患者]59歳 女性

[検体]甲状腺

[採取方法]穿刺吸引

[臨床所見]左側頸部痛にて受診

USにて左葉(もしくは甲状腺外)に辺縁やや不整な低エコー腫瘤

症例4 乳腺 (Pap.1枚)

出題者：松本市立病院 小堺智文

- ・ 40歳代の女性。特記すべき既往歴なし。
- ・ 健診受診時に右乳房に約2cm大の腫瘤を指摘された。
- ・ Sonography, MRIにて乳癌疑いの診断となり、右乳腺穿刺吸引細胞診を施行。